

特異能力報告書「シュレディンガーの猫」

文書番号：TR-2026-0809-SK

【極秘 / RESTRICTED】

分類：極秘ファイル／臨床調査報告

1. 調査件名および対象事象

本報告書は、当院周辺および院内個室で発生している一連の不可解な死因不明事象に関して、その原因とされている特異能力『シュレディンガーの猫』の構造的特性を記録・検証したものである。

2. 能力の概要と基本定義

【量子干渉型・生死支配現象】

完全な密室空間に存在している対象人物の「生」および「死」の状態確率を、外部から不確定なまま操作・収束させることができる概念干渉能力である。

3. 運用・発動における4大制約事項

- 制約1：媒介（触媒）の必須性**
能力の発動には、能力者の強い思いや念が込められた特定の物理的「媒介」が存在しなければならない。媒介の不在下では能力の干渉は観測されない。
- 制約2：完全密室と観測の遮断**
能力を行使するには、能力の対象人物以外が内部を視認・知覚できない完全な密室の中に、前述の媒介が置かれている必要がある。
- 制約3：制御不能性と感情依存**
発動の条件が整い次第、能力者の意図や制御を離れて不定期なタイミングで自動的に発動する。効果の方向性は媒介に込められた思いの種類に直結するが、実行そのものはシステムの的に強制される。
- 制約4：観測による発動阻止（不発化）**
能力の発動が完了する前に、第三者や監視機器によって密室内が物理的・視覚的に観測された場合、確率の収束が乱され、能力の発動は完全に阻止される。

4. 考察および対策案

本件能力は、対象の生死が「観測されるか否か」の境界線上に置かれる極めて特殊な物理的・心理的トリックに基づいている。対策としては、いかなる個室においても完全な密室状態を作らせず、常時監視や定期的な第三者による観測体制を徹底することが不可欠である。